

Rina Inoue



Kumwetulira

Mwa dzuka bwanji ? Dni ka lankhula food.

関町北小学校のみなさん、こんにちは。ワールドカップが始まりましたね。日曜日の「vs コスタリカ」の試合は、とても悔しかったですね。生中継でマラウイから見ていましたよ。（もちろん時差はあるので、開始したのはマラウイ時間の12時ですが。）初戦のドイツ戦では、後半、同点に追いついたとき、そして逆転を決めたときには思わずマラウイで声をあげてしまいましたね。ドイツ戦のあとは、すれ違うマラウイの人に、たまに「日本勝ったね！おめでとう！」と言われますよ。ともあれ、決勝トーナメントにすすんでほしいですね。

今日は先週にあった「Church mission」のイベントについて紹介したいと思います。先週の木曜日、とある教会の方々が来て、学校で食事の配布をしてくれました。子どもたちは朝会で食事が配られることを聞くと、大歓喜。朝からお祭りのようでした。朝8時過ぎ、トラックが到着しました。うすうす想像はしていたものの、到着したのは「木」。火おこしから始まります。給食で使っているような巨大な寸胴を使ってまずはお米をたいていきます。お米の炊き方は日本と少し似ていますが、日本に比べてパラパラした状態で炊き上がりです。その後は、豆を煮ます。少し大きなレッドビーンと呼ばれる赤豆です。

待っている間、子どもたちは水をくむのを手伝い、^{あんてい}安定の木の下に集まってお話を聞きました。

待つこと5時間半……。ついに^{りょうり}料理が^{かんせい}完成しました。子どもたちを先生たちが^{なら}並ばせて、ご飯を^{くば}配り始めます。メニューは米と豆。2500人の子どもたちに配るため、たくさん作った^{しょくじ}食事はすぐになくなっていきました。

お土産としてノート1冊とボールペンをもらい、子どもたちはとても^{うれ}嬉しそうに^{かえ}帰っていきました。次の日はいつもに比べて、ノートやペンを持って来られない子が^へ減ったような^き気がします。

わたしがマラウイでやっているのは、^{しえん}‘物の支援’ではありません。支援の^{かたち}形にもいろいろありますが、^{ぶってきしえん}物的支援、^{ぎじゅつしえん}技術支援、いろいろな形でのサポートが^{ひつよう}必要だなあと感じた1日でした。



木から火をおこして料理を始めます。マラウイスタイル



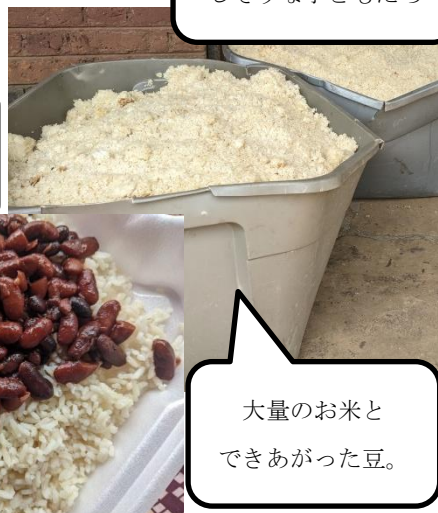
ノートをもらって嬉しそうな子どもたち



1人ずつ並んでもらいます。



大量の寸胴。給食のようです



大量のお米とできあがった豆。